

## 第3回新処分場併設環境学習施設基本計画検討委員会における 委員からの主な意見について

### 1 委員会の概要

- (1) 日 時 令和5年1月17日(火) 13時30分～15時頃
- (2) 議 事 ①第1回～第2回検討委員会検討項目の見直しについて  
②第3回検討委員会における検討項目について  
③その他
- (3) 会 場 エコフロンティアかさま(笠間市福田165番1)

### 2 主な意見

各委員からの主な意見は次のとおり。

#### ① 第1回～第2回検討委員会検討項目の見直しについて【資料1】

(第1章 環境学習施設の整備方針、第2章 事業計画)

意見なし

#### ② 第3回検討委員会における検討項目について 【資料2】

(第3章 施設整備計画、第4章 管理運営計画)

##### 〔阿部委員長〕

- 本施設の役割の一つが交流機能なので、人々が集まれる機能をしっかり確保していくことが大事。
- 大学教員は退職すると膨大な本の行き場が無くなる。今はデジタルで色んな情報が入ってくるが、本の価値もあるので、本施設に本棚があればこういった書籍を、施設管理者が自由に使える形で引き取って、購入費用もかからないので、是非そういう形で使用してもらえると地元大学の先生方も膨大な無駄がなくなる。
- 省エネルギーの話では断熱がすごく大事。壁の対策や窓の二重ガラスをやるだけでも本当に違うので、ぜひ配慮いただきたい。
- 運営体制について、あくまでも私の要望だが、日立市から環境教育に関心のある指導主事(先生)を最低一人派遣して、本施設の運営する主体と一緒に、子供を核にしなが、多様なステークホルダーとプログラムを開発して、子どもはもとより、大人も含めて事業を推進できたら素晴らしい。
- 環境省の環境教育等促進法に基づいた「体験の機会の場」の認定制度があり、全国の環境教育の場として提供している施設を認定している。本施設を是非「体験の機会の場」に登録して、多様なステークホルダーと繋がりながら、環境学習を展開していく施設になってもらえると良い。

##### 〔吉田委員〕

- 基本的に新処分場の見学の際に利用者が来館するので、新処分場が見える位置に本施設を配置することが、目標達成のための必要十分な条件になると思う。敷地配置を新処分場が見学できるように検討してもらいたい。

→〔事務局〕

新処分場の基本設計の中で施設配置を検討しているところで、どうすれば本施設から埋立地が見えるようになるのか検討していきたいと考えている。

- 茨城県教育委員会の中でもSDGsを推進していると思うので、学習指導要領と合わせた施設ということで、県の教育関係の部署も運営に入っただけであれば、大学の先生方とも間接的に関係するということになってくるので、県を挙げて運営を検討いただきたい。

#### 〔岡委員〕

- JX金属（株）は日立市と北茨城市磯原に工場があり、ESG施策の一環として、EVバスを走らせようとしている。本施設でも、例えばEVの急速充電設備の導入なども検討が可能なら候補に挙げられるのではないかと。

→〔事務局〕

新処分場で使用する車両に関してはEV化を検討することもあり得る。充電スペース等の検討も後々の設計や運営段階で詰めていきたいと考えている。

#### 〔菊野委員〕

- 中小企業の新人や中堅社員が、本施設を見学して脱炭素化といったところを認識してもらおう。あるいは商工会議所や事業協同組合などの組織もあるので、多目的室等でワークショップや動画など見て学ぶという利用方法があるかもしれない。小学校高学年から中学・高校生がメインターゲットになるが、社会人も積極的に活用が進められれば意義がある。

#### 〔七井委員（菊池代理）〕

- 諸室構成の部分で、学習機能はある程度床面積が確保されているが、次に重要な交流機能と連携機能の床面積が学習機能に比べると少ないと思う。4頁の図3-2の施設配置イメージ図を見ると建築面積で約1,000㎡の施設の十分配置可能だと思われるため、例えば、9頁の⑤外観の2階建てパターンのような形で、1階が1,000㎡で2階建て、更に屋上テラスなどを整備すると、施設整備の考え方にあるような、多様な人と人とが交流ができる開放的で明るい空間になるのではないかと考えている。

→〔事務局〕

実際の運営にあたっては、学習機能にあたる多目的室等も活用して施設全体として多様な利用目的に対応して、各機能の拡充ができると考えている。新処分場の施設配置も踏まえ、導入機能を確保した効率的で経済性の高い、様々な人と人が交流できる開放的で明るい空間となるように検討していきたい。

- 地域住民や環境団体、企業、大学などが参画し、事業活動や施設運営などに関わっていくことは、様々な交流を継続して実施していくために重要。地元住民や日立市の環境団体は、環境学習施設に対して高い関心を寄せている方もおり、こうした方々の参画の機会や仕組みについて、是非設けていただきたい。

→〔事務局〕

地域住民等が事業活動や運営に参画する機会や仕組みについては、運営方法の検討の中で対応していきたい。地域住民と交流や連携を行うにあたって地元日立市に協力を頂きながら進めていきたいと考えているので、協力願いたい。

### 【大内委員】

- 吉田委員から、本施設から埋立地が見えるように配置した方が良い旨の意見があったが、中腹あたりに配置変更することは可能なのか。

→〔事務局〕

新処分場基本設計の中で配置を再検討しており、配置に変更が生じる可能性もある。どのような配置が効率的で合理的なのか検討しながら、本施設から埋立地が直接見られる配置も検討しているので、何かしらの対応をしていきたいと考えている。

### 【田辺委員（代理：中川指導主事）】

- 霞ヶ浦環境科学センターや県立ミュージアムパーク自然博物館等は、学校の先生が指導主事として派遣されているので、市から本施設へ指導主事を派遣する場合は、市の割愛というような形で派遣されることになるかと思うが、県の施設でもそういった学校の先生が派遣されている機関もあるので、一つの手法だと思う。